

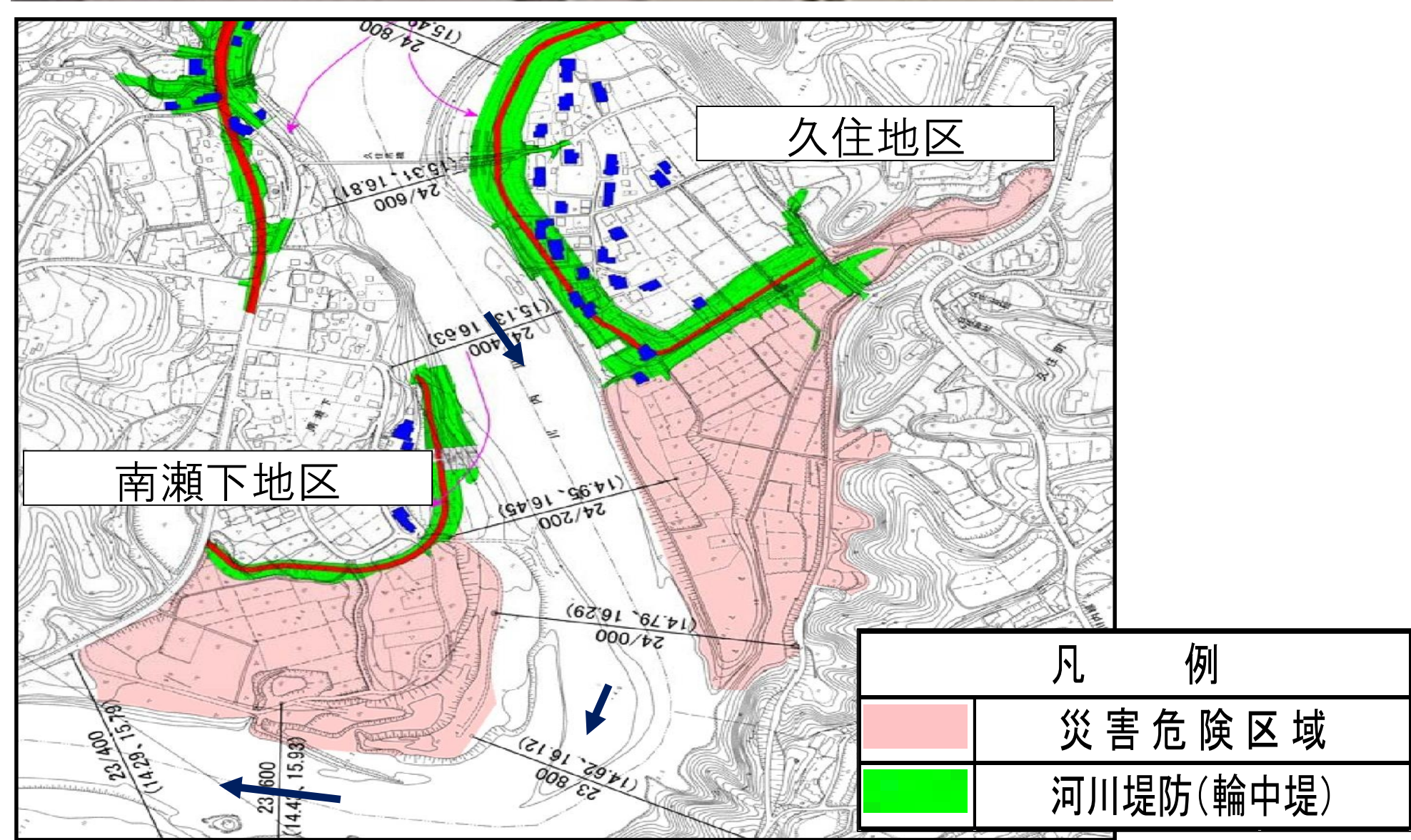


- 人家を守るため、連続堤に比べて早期に効果が発現する輪中堤を整備
- 輪中堤の外は、土地利用を規制し、新たな建築物の立地を制限
- ソフト(土地利用)とハード(輪中堤)を組み合わせ、治水効果を早期に発現

Before (平成18年) ▶▶▶



平成18年鹿児島県北部豪雨による浸水状況



After (平成26年)



- ・ 現状の土地利用など地域の実情を踏まえ、最小限の堤防(輪中堤)と土地利用規制を有効に活用
- ・ 災害危険区域の設定にあたっては、住民説明会を丁寧に行い、合意形成を図った。

戦略的治水  
70%以上